資料２

具体的な施策・重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票【対象：平成２７年度】

具体的な施策･重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	1	市内産業の振興と起業･創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持（経営基盤の強化）
具体的な施策	①	市内企業の経営支援
主担当課	経済観光課	
施策概要	・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	融資実行件数	件	300					
			292	283	―	―	―	―
				B				
②	商店街イベント事業補助金交付商店会数	件	32					
			28	30	―	―	―	―
				A				
③	技術相談を行った件数	件	470					
			463	456	―	―	―	―
				B				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①金融機関からの借入れ利息に対して利子補助を行うことで、市内中小企業における金融の円滑化を図ることができたが、昨年度と比較すると、融資の実行件数は少なかった。また、中小企業退職金共済掛金については、280 事業所、延べ 28,243 人分の補助を行うことで、勤労者福祉の向上と雇用の安定に寄与することができた。
②イベント事業に対する補助を継続して行うことで、30 商店会、延べ 54 事業分の、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店街等への支援を継続することができた。
③府中市工業技術情報センターで専門相談員による技術相談を行うことで、市内中小企業者の製品開発や技術革新の取組を支援することができた。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①資金融資の利子補助及び中小企業退職金共済掛金の補助を継続するとともに、資金融資の利子補助については、更なる利用増を目指して、見直しも検討していく。
②イベント事業に対する補助を継続して行うことで、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店街等への支援を継続していく。
③技術相談を継続して行うことで、市内の中小企業者の製品開発や技術革新の取組の支援が図られるため、今後も、事業の継続実施を図っていく。</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・①の実績が減少しているが、補足資料で確認したところ、そもそも申込件数が減っていることが原因だと考えられるため、事業のＰＲに努めてほしい。
・②の実績は増加しているため、継続して事業を実施してほしい。
・③の実績は微減しているが、この技術相談から新製品・新技術開発に対する補助という結果に繋がっているようなので、継続して事業を実施してほしい。
・「産・学・金・官」の連携等による人材交流は現在行われていないようなので、更なる活性化に向け、実施について検討してほしい。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策･重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	1	市内産業の振興と起業･創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持（経営基盤の強化）
具体的な施策	②	多様な人材の就労支援
主担当課	住宅勤労課、市民活動支援課	
施策概要	・就労意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、働く意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。 ・講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した助成の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めます。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	いきいきワーク府中の就職率	%	36.8					
			32.1	27.2	―	―	―	―
				C				
②	女性向け再就職支援の講座数	講座	現状値以上					
			5	5	―	―	―	―
				A				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２７年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	①高年齢者の職業紹介事業は自所求人開拓に積極的に取り組むなど事業の拡大に努め、就職者数 215 人、来所者数 2,059 人、自所開拓求人数 1,578 人と都内でもトップレベルの実績をあげている。 また、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターと共催等で、就職支援セミナー、合同就職面接会を行った。 ②出産や介護などの理由により離職した女性の再就職の支援、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての講座を 5 回行った。
B	

【平成２８年度における取組など】
①勤労者福祉振興公社が実施する概ね 55 歳からの無料職業紹介事業「いきいきワーク府中」に対して引き続き支援していく。求人数及び就職者のニーズに対応するため、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターとの連携を図っていく。 ②講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した助成の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めていく。

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	・①の実績は減少しており、目標値からも乖離している状況であるが、現在の良好な雇用情勢を考えると、関係機関等と連携を図り、求人者と就職者とのニーズに対応するための取組が効果として数字に表れているものと評価できる。なお、「多様な人材の就労支援」という施策であるため、高齢者及び出産や介護等で離職した女性以外の層に対する取組にも努めてもらいたい。 ・②については、セミナー終了後のミニ面接会等の実施及びワークライフバランスの取組を啓発することで女性の再就職への動機付けを行っている点などは、効果的な取組として評価できる。なお、講座についても、多様な層に対して実施してもらいたい。
B	

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策･重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	1	市内産業の振興と起業･創業の推進による雇用の確保
基本的方向	2	起業･創業の推進による産業構造の多様化
具体的な施策	①	起業･創業の支援
主担当課	経済観光課、市民活動支援課	
施策概要	・起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 ・東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農における起業や創業に関する多様な支援を行います。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	起業・創業に関するセミナー参加人数	人	90					
			44	115	―	―	―	―
				A				
②	コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談の参加人数	人	24					
			6	24	―	―	―	―
				A				

※進捗　　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく、創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保することができた。また、起業・創業に関するセミナーについては 4 回延べ 115 人の参加があり、起業・創業希望者の継続的な支援を行うことができた。
②平成 26 年度に実施した個別相談に加え、平成 27 年度からはガイダンスを開始したことにより、参加人数が大幅に増加した。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保していく。また、創業支援プロジェクト機関における起業・創業に関するセミナー及び創業塾の開催を継続し、引き続き、起業・創業希望者の支援を図っていく。
②引き続き、ガイダンス及び個別相談の周知に努め、参加人数の増加を図る。</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・①、②ともに目標値を上回る実績になっているため、その取組の成果が出ていることは評価できる。
・起業・創業とともに第二創業の支援を積極的に推進し、様々な「しごと」の場を増やすことで、働き手が留まり、働き手が集まる街を目指すなど、昼間人口の増加にも努めてほしい。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	①	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	経済観光課、広報課	
施策概要	・市民や市内の商業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。 ・府中市の魅力の再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	京王線府中駅における１日の乗降人員	人	現状値以上					
			85,279	86,949	―	―	―	―
				A				
②	市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	%	15.0 以下					
			17.7	17.3	―	―	―	―
				B				

※進捗　　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①桜まつりやくらやみ祭、酉の市、まんぱくやふるさと祭東京等、市内外のイベントでＰＲブースを出店し、本市の魅力の発信を行った。（のべ 62 日）
また、隣接する国分寺市や、京王線の沿線四市、鉄道事業者等と広域で連携し、効果的な観光事業や観光ＰＲ活動を実施した。
②職員の広報力向上を目的としたマニュアルを作成し、広報紙・テレビ広報・メール配信サービスなどの事業を予定どおりに進めたほか、ホームページ・ツイッターでは、画像を効果的に活用し、情報発信力を向上させた。
また、市内各駅に設置する駅前案内板の躯体補修及び府中・府中本町・分倍河原・多磨駅の地図面の多言語化を実施した。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①新たな観光資源として、本市が舞台として登場する人気漫画「ちはやふる」と競技かるたを合わせたイベントを開催し、市内外からの誘客に努める。
武蔵国 府中大使を活用した観光ＰＲ冊子「府中に夢中」を作成し、市内外での配布を行い、広く本市の魅力の発信を行う。
観光ボランティアによる、市内の観光スポットを巡る観光ガイドツアーを開催し、本市の魅力の発信と地域への愛着の向上を図る。
②広報紙・テープ広報の年 36 回発行、ホームページの適正な管理・運用、メール配信サービス及びツイッターの管理運用、テレビ広報を年 36 本製作・放映、駅前案内板の多言語化、市マスコットキャラクターの管理運用、わたしの便利帳の作成・全戸配布を行う。</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・①の実績は増加していることから、居住者や来訪者が増加しているとも言えるが、この増加数は自然増の範囲とも捉えられる。市内で開催しているイベントにおける市外からの来訪者数の推移が把握できるようなデータへのアクセスを試み、その内容を今後の取組に活用してほしい。
・②については、イベントへの出店や、広報紙、テレビ、メール配信、ホームページ、ＳＮＳなど様々な媒体を通じて情報を発信している点は評価できる。今後は、取組内容をどう充実させ、きちんと「受け取られる」情報として発信していけるかについて検討を進めてほしい。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策･重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	②	地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	経済観光課、政策課	
施策概要	・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。 ・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	休日のけやき並木通りの歩行者交通量	人	現状値以上					
			19,378	19,378	―	―	―	―
			※平成２７年度の実績	―				

※進捗　　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２７年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	・府中駅周辺を含む中心市街地の活性化を図るため、国の認定する中心市街地活性化基本計画を目指し、中心市街地活性化協議会からは検討結果をまとめた意見書を提出いただいた。また、庁内においても関係課で構成する推進会議を設置し、連携強化及び情報共有を図った。 ・ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関連する取組の方向性を示す基本方針を策定した。さらに、ラグビーワールドカップ 2015 で日本代表として活躍された、東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアスの選手による報告会の実施や府中駅伝競走大会にオリンピアンを招待するなど、市民に対する大会気運を醸成するとともに、大会に関連する取組を実施した。
―	

【平成２８年度における取組など】
・中心市街地活性化協議会から出された意見書を踏まえ、中心市街地活性化基本計画を策定し、国の認定の取得を目指す。また、府中駅周辺のエリアマネジメントに取り組む新たな組織機構の創設が民間事業者及び関係団体により進められているので、その検討や手続を支援する。 ・基本方針を踏まえ、取組の方向性をより具体化したアクションプランを策定する。さらに、市内の関係機関及び団体で構成する府中市東京オリンピック･パラリンピック競技大会等関連事業推進会議を設置し、市民協働の下、取組を推進する。さらに、ラグビーのまち府中推進委員会を設立し、ラグビーを地域資源とした取組（シンボルマークの作成・ラグビー商品の開発など）を推進し、市民協働の下、本市の魅力を市内外に発信する。

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	・ＫＰＩの実績の推移はまだ評価できる段階ではないが、中心市街地の活性化については協議会を中心に意見の集約が図られ、各種の準備が進んでいるとともに、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックについては基本方針を策定し、イベントの開催といった取組も開始されたところである。 これらの取組は平成２７年度から本格的に始まっていることから、現時点では取組を見守る状況ではあるが、今後の積極的な取組の推進に期待する。
―	

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2	郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策	①	歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課	文化振興課、生涯学習スポーツ課		関連課	ふるさと文化財課、美術館
施策概要	・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。			

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	郷土の森博物館及び美術館の入場者数	人	533,000					
			489,602	498,579	―	―	―	―
				A				
②	大学やトップチームと連携する事業数	事業	3					
			2	2	―	―	―	―
				A				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①博物館では、常設展示室やプラネタリウム等を活用し、郷土愛を深めるプログラムを実施した。美術館では、5 つの企画展及び常設展・所蔵品展の実施、公開制作や美術鑑賞教室等の実施、市内で活動するグループ・個人の展示による市民ギャラリーの利用（H27 年度の総入場者数 203,721 人）など、一定の成果を得た。
②総合体育館において市内の小学生等を対象にトップチームよるバスケットボール教室及びフットサル教室を実施した。競技未経験の参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声が挙がった。「府中アスレティックＦＣ」や「アルバルク東京」の指導による市特有の事業として実行し、スポーツタウン府中の発展に寄与できた。
※市指定の無形民俗文化財である府中囃子は年間を通じ演奏技術の伝承を継続して実施し、武蔵国府太鼓は市民を対象とした講習会を年 44 回実施した。市史編さん事業では、初めて市内外の大学（東京外国語大学・帝京大学）と連携して調査に取組み、資料収集の成果を得た。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①博物館では、特別展の更なる充実や、常設展、梅まつり等を継続して実施し、郷土愛の醸成につながる取組とする。美術館では、展覧会（企画展）を 4 事業開催し、効率的な広報活動に努め来場者数の増加とともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。
②実施済みのスポーツ教室では、男性参加者の割合が高かったため、女性対象のチアダンス教室を新規に開催する。また、平成２８年度の当該新規事業の開催をもって、目標事業数の「3」を達成する見込みである。
※市史編さん事業のなかで、引き続き市内の大学（東京外国語大学・東京農工大学）と連携して調査を進める。市の民俗芸能である府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成を継続して取り組む。</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・①の実績は増えており、郷土愛の醸成につながるプログラムも実施されている点も評価できる。今後もイベントや展示を工夫し、多くの市民が何度でも利用したくなるような施設を目指してほしい。
・②については、その効果が現れている取組として評価できる。なお、平成２８年度には目標値を達成する見込みであるようだが、今後は事業を継続するとともに、更なる充実に向けて力を入れてほしい。
※ＫＰＩの項目以外にも関連する取組が確認できた点も評価できる。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策･重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	3	若い世代の出産･子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	①	安心して妊娠･出産できるサポート体制の充実
主担当課	子育て支援課、健康推進課	
施策概要	・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に係る母親の負担感の軽減を図ります。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	Fu-CHU こそだてサイト「ふわっと」アクセス数	人	現状値以上					
			24,807	26,924	―	―	―	―
				A				
②	産前産後家庭サポート事業の新規登録世帯	世帯	現状値以上					
			213	224	―	―	―	―
				A				

※進捗　　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①子育てサイトを継続して運営し、幅広く出産や子育ての支援に関する情報提供を行い、育児に係る不安の解消等を図った。
②産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安の解消等を図った。
※妊娠期からの母子の保健指導や健康の保持増進を目的として、妊娠届出を行った全妊婦を対象として、妊婦健康診査 14 回、超音波検査１回の費用助成を行ない、対象者 2,337 人、延べ受診者数 26,710 件の健診受診があった。また、出産に関する不安の解消や妊娠期からの子育て支援を目的として母親学級を年 36 回(3 回コース 12 クール)・両親学級を年 12 回実施し延べ 1,183 人の参加があった。親子の健康増進にかかる事業は、離乳食教室を年 66 回開催し、延べ 1,564 人、親と子の歯みがき教室を年 12 回開催し、延べ 294 人の参加があった。妊婦健康診査については妊娠期の健康管理の充実により、安心して子どもを産むことができる環境を整えることに寄与した。各種教室は年間計画により実施し、子どもを安心して育てるための環境づくりに寄与した。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①子育てサイトの機能を充実させ、市民にとってより使いやすいツールとするための見直し・検討を行う。
②引き続き、産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安の解消等を図るとともに、より多くの市民に利用してもらえるよう、医師会の協力のもと、市内産婦人科等に事業周知のポスター・パンフレットの配布を予定している。
※平成２７年度に引き続き事業を実施する。妊婦健康診査は、平成 28 年度より健診項目に HIV 抗体検査と子宮頸がん検診が追加される予定である。</td></tr>
</table>

※評価　A：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「A」の割合が６０％以上
　　B：AとC以外の割合
　　C：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「C」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・①について、「ふわっと」は見やすいサイトだと思うが、市のホームページを閲覧した人が「ふわっと」に繋がるような仕組みを構築してほしい。また、「ふわっと」内にアンケートページを作成し、ユーザーから使いづらい点を教えてもらうなど、より多くの方が利用しやすいサイトになるような工夫をしてほしい。
・②の実績は増えていることから、評価できる。
※母親学級については、産前産後の精神的負担を和らげる大変重要な事業であるため、より多くの方々が参加できることを望む。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
</table>

※評価　A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策･重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	3	若い世代の出産･子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	②	安心して子育てができる環境の整備
主担当課	子育て支援課、保育支援課、健康推進課	
施策概要	・適切な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期発見に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。また、各種予防接種を実施し、子どもの健康を守ります。 ・待機児童の解消に向け、既存施設の有効活用などのソフト面の手法と施設の整備などによるハード面の手法を併用することにより､保育サービス量の拡充に取り組むとともに、保育の質の向上を目指します。また、地域の様々な人材や団体、施設などの社会資源との連携や協働を図り、地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりを進めます。 ・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	新生児訪問実施率	%	97.0					
			86.9	86.1	―	―	―	―
				B				
②	特定教育・保育施設の数	箇所	54					
			47	50	―	―	―	―
				A				
③	安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	%	50					
			48.5	50.3	―	―	―	―
				A				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２７年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	①新生児訪問は、家庭訪問により発育状況の確認や子育てに関する指導や情報提供を行うことで、母子の健康増進と子育て不安の解消に寄与した。各種乳幼児健診の受診率は、3～4 か月児健診 97.8%、1 歳 6 か月児健診 96.8%、3 歳児健診 94.9%など高水準である。予防接種は平均接種率が 92.2%とそれぞれ高水準であり子どもの健康増進に寄与した。ふちゅう予防接種ナビは、順調に登録者が増加し、平成 27 年度末登録者 3,126 人となった。予防接種ナビにより、予防接種の接種忘れの防止など適切な接種の推進を図った。
A	②認可保育所（私立保育園）の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備支援を実施し、平成 28 年 4 月 1 日付けで認可保育所を 3 施設開設した。また、市内保育施設に対して、市職員による巡回支援や保育従事者を対象とした研修などを実施し、保育の質の向上を図った。 ③子育て中の親の孤立化の防止や子育て不安の解消を図るため、市内 11 ヶ所で子育てひろば事業を実施したほか、市保育士やボランティアによる子育てひろばや市民団体の子育てひろば活動への補助を行った。義務教育終了前までの児童を対象に医療費の助成や児童手当の支給を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。

【平成２８年度における取組など】
①新生児訪問、各種乳幼児健診、予防接種、予防接種ナビは年間通じて実施する。新生児訪問は、必要に応じて保健師の継続支援につなげるほか、里帰り先での新生児訪問の利用者の把握に努める。各種乳幼児健診は年間計画により実施するが健診が子どもの健康増進だけでなく子育て支援の機会になるよう努める。予防接種は安全に実施されるよう市民及び協力医療機関への情報提供等に努めるほか、予防接種ﾅﾋﾞは、利用者の状況等の調査により事業導入の効果を評価する。 ②引き続き、認可保育所等の保育施設の整備を行うほか、多様な実施主体の協力を得ながら一時保育・定期利用保育などの保育サービスの充実を図る。 ③地域で子育てひろばを展開するとともに、市立保育所の地域子育て支援拠点の整備を進める。また、手当・医療費助成ともに継続して法令等に基づき実施をすることにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	・①の実績はほぼ横ばいであるが、訪問できなかったケースの把握ができていれば特段の問題はない水準だと考える。各種健診の受診率、予防接種の接種率の水準も高く、きめ細やかな保健指導等が実施されているものと評価できる。 ・②について、府中市は全国的にも待機児童数が多い地域であり、認可保育所の整備等を進め、その対策を行った点や、保育の質の向上に係る取組も行っている点は評価できる。今後も取組を継続し、待機児童問題の解消に向けて着実に進むことを期待する。 ・③について、子育て不安や親の孤立感の解消に向けた対策は、都市部において大変重要な取組であるため、更なる充実及び広報活動にも力を入れてほしい。
A	

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	①	防災・防犯体制の強化
主担当課	防災危機管理課、地域安全対策課	
施策概要	・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	%	80.0					
			62.2	57.4	―	―	―	―
				B				
②	地域安全リーダー講習会受講者数	人	450					
			311	332	―	―	―	―
				A				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①防災の基本である「自助」について、 平成 27 年 3 月に全戸配付した「府中市防災ハンドブック」、広報番組「まるごと府中」や職員の出前講座や地域が行う防災訓練などにおいて、家庭でできる取り組み（自宅の耐震補強、家具の転倒防止）の必要性を説明してきたが、「平成 27 年度実績」は、「現状」62.2%に対して 5.2%減であった。
②地域安全リーダー講習会について、地域における自主防犯活動の指導者として、地域安全リーダー講習会を継続して実施している。次代を担うため、働く世代の若年層が防犯活動に興味を持ち、地域安全リーダー講習会に参加してもらえるように、府中防犯協会等の協力団体と協働して地域安全リーダー講習会への募集をした結果、40 歳代の男性 2 名が講習会への参加が実績としてあった。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①引き続き、上記の取組を推進する他に、平成 28 年度に福祉事業所と防災用品の斡旋の協定を締結したことから、積極的に機会を捉えてＰＲし、市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制の強化を図っていく。
②地域安全リーダー講習会について、課題である若年層の防犯活動への参加を促し推進するため、防犯イベント等を利用し、自主防犯活動の大切さを啓蒙するなど、地域安全リーダー講習会へ参加してもらえるように努める。</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・①の実績は減少しているが、防災ハンドブックの配布、広報番組や職員の出前講座、また地域における防災訓練における説明等といった取組は評価できる。今後は「積極的に機会を捉えてＰＲする」という方向性において具体的な取組内容が示せるようにしてほしい。
・②の実績は増えているが、女性や若年層の参加が課題となっているため、参加を促すための取組やＰＲに期待する。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	②	公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
主担当課	建築施設課、管理課、公園緑地課	
施策概要	・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。 ・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画に基づき、推進します。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	公共施設の市民1人当たりの延床面積	㎡/人	現状維持					
			2.52	2.49	―	―	―	―
				A				
②	公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	%	74.0					
			70.3	76.2	―	―	―	―
				A				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２７年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	①最適化の取組としては、意見交換会やパブリックコメント手続を実施し、市民意見を踏まえて府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針を策定した。また、有識者や公募市民等で構成される検討協議会を開催し、関係課とともに学校施設の更なる活用に向けて、様々な立場から意見交換を行った。計画的保全の取組としては、引き続き公共施設の劣化状況調査を実施し、その結果を工事予算の優先順位づけに反映することで、効果的な予算執行につなげる仕組みを整えるほか、府中市公共施設保全計画を策定し、計画的保全の取組に関する考え方を体系的に整理した。 ②街路樹や公園樹木の適切な維持管理、地域まちづくり条例による緑地や公園等の設置、生産緑地の追加指定による減少の抑制など、緑あふれるまちとしての魅力の維持に努めた。また、府中市インフラマネジメント計画に基づく取組として、インフラマネジメントシステムを構築し、道路等の情報の集約化や計画的な予防保全を実施することが可能となった。さらに、けやき並木通り周辺地区道路等包括管理委託による効果の中間評価を行い、事業方針の妥当性を確認した。
A	

【平成２８年度における取組など】
①最適化の取組については、検討協議会における検討結果を踏まえて、学校施設の更なる活用に向けた基本方針を策定する。計画的保全の取組については、府中市公共施設保全計画に基づき、引き続き効果的な予算配分やライフサイクルコストの低減につながる取組を進めていく。 ②インフラマネジメントを推進し、引き続き緑の適切な維持、保全に努め、計画的な管理を検討、実施する。また、平成 29 年度に府中市インフラマネジメント白書を更新し、その内容を踏まえて府中市インフラマネジメント計画を改定するため、道路等の現況調査を行う。 ※①②の連携した取組として、市の建築物やインフラの総合的かつ計画的な管理を図るため、公共施設等総合管理計画の策定を進める。

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	・①について、平成２７年度は府中駅周辺施設再編に関する方針や、学校施設の更なる活用に向けた基本方針を作成し、調査を実施するなど、順調に進捗していると感じた。今後は策定した計画や方針に基づいた適切な実施を期待する。 ・②の実績は増加していることは評価できるが、その要因が見えてこないため、分析にも努めてほしい。
A	

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化
具体的な施策	①	地域交流・活動の促進
主担当課	市民活動支援課、指導室	
施策概要	・高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。 ・相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び東京農工大学をはじめ、市内の企業やＮＰＯ等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数	人	231,000					
			222,427	228,575	―	―	―	―
				A				
②	市と大学や企業等が協働実施している事業数	事業	現状値以上					
			59	56	―	―	―	―
				B				

※進捗　　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２７年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	①一番集客のある事業の「地域まつり」についても、天候に恵まれたこともあり、文化センター全てにおいて前年以上の参加者があったため、順調な推移となった。 ②大学連携については、市内大学との協働・連携推進会議を開催するなど、相互に事業提案・調整等を行うことで、新たな事業の実施や連携事業数を増やすことができており、順調に連携体制の充実を図ることができている。 ※コミュニティ・スクール事業においては、子どもたちの多様な関わりと育ちの着実な推進のために、地域コーディネーターを中心に、学校と地域で協働しての取組を行った。市立小中学校がそれぞれ地域の教育力を生かした日常での関わりの推進を行うことができた。
B	

【平成２８年度における取組など】
①引き続き、行事開催時のＰＲをおこなっていくとともに、よりよいＰＲ方法を実践していきたい。既に参加されている方はもとより、事業に参加したことのない方及び新しく市民となられた方にも参加していただける周知も併せて考えていく。将来も行事が継続していくよう後継者の育成もかんがえていきたい。 ②協働先の大学や企業等の新規開拓を行うとともに、すでに連携体制が構築されている大学や企業等についても、事業内容の更なる充実を図っていきたい。 ※引き続き、地域の教育力を生かしたコミュニティ・スクール事業の推進を図っていきたい。

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	・①については、「地域まつり」の参加者が前年以上であった要因として天候を挙げているが、文化センターごとの取組など、それ以外の要因の分析も行ってほしい。 ・①、②ともに担当課評価は妥当であり、また、平成２８年度における取組の中で、事業の継続性という点から取り組むべきポイント（既存の連携体制の更なる強化、新規連携先の開拓、市民の後継者育成）が明確に整理されている点も評価できる。
B	

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 27 年度）

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保		
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化		
具体的な施策	②	空き家などの活用		
主担当課	環境政策課		関連課	住宅勤労課、市民活動支援課
施策概要	・空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。			

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	空き家等を活用したコミュニティ活動事例	人	実施					
			未実施	未実施	―	―	―	―
				C				

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２７年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">・空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいた体制整備を進め、関連課（利活用の主担当課）との連携の中で本市の今後の方針を検討した。</td></tr>
<tr><td>C</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成２８年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">・平成 28 年度設置の「府中市空家等対策協議会（会長：府中市長）」において本市空き家対策の方向性をご審議いただき、平成 29 年度内に、本市空き家対策の方向性を定めた「空家等対策計画」を策定する予定である。
なお、空き家（空き店舗）の利活用については、都内区市町村の連絡会において、東京消防庁より、消防法等の基準に適合するよう周知がされており、また、建築物の用途が変わることによる、建築基準法や関係法令の新たな基準に留意すべきであることを、庁内の関係課と情報共有しているところである。その他、本市特性等も踏まえ、「府中市空家等対策協議会」のご審議により、今後の対応内容を検討していく。</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ａ」の割合が６０％以上
　　Ｂ：ＡとＣ以外の割合
　　Ｃ：重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況における「Ｃ」の割合が６０％以上

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">・都内では設置する予定がない自治体もある中で、府中市では協議会を発足する予定である点は目標達成に向けた取組として評価できる。
・地域における多世代が活動する「場」として、空き家や空き店舗は活用できる重要なストックである。ただし、実際の活用までには法整備の問題などもあり、時間が掛かるものと思われるが、市と市民が協働し、空き家等を地域コミュニティ拠点として活用できるように努めてほしい。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
</table>

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。